

「めざそう値」の達成度等の点検評価

「那覇市立図書館」運営の基本的な考え方の点検評価基準（別紙 3）に基づき、「施策（事務事業）の進行管理チェックシート」（別紙 4-（1）（2）参照）を活用して、「めざそう（目標）値」の達成度や評価の観点ごとの点数・コメント及び総合評価点数等を踏まえて、那覇市立図書館協議会委員で外部評価した。

点検評価事務事業（令和 6 年（2024 年）度分）

課 題	施策名 (チェックシート)	事務事業名	指標名
I-1 利用者サービスの 充実	【1】 I-1-(1) 資料・情報提供サービス の充実	1. 資料・情報提供サービスの推進	① 来館者数
			② レファレンス（調査相談） 件数
I-2 青少年に対するサ ービスの充実	【2】 I-2-(1) 中学生・高校生の読書活 動の充実	2. 中学生・高校生の読書 活動の推進	③ 中学生・高校生向けの企画 実施件数
I-3 障がい者サービス の充実	【3】 I-3-(1) 障がい者サービス用資料 の充実	3. 障がい者サービス用資 料の貸出の推進	④ デイジー図書貸出数
			⑤ 大活字本貸出数
			⑥ 朗読 CD 貸出数
II-1 多種多様な市民ニ ーズに対応できる 人材の採用・育成	【4】 II-1-(1) 図書館職員研修の充実	4. 図書館職員研修の実施 及び各種研修への参加	⑦ 研修会への参加人数（参加 件数）
	【5】 II-1-(2) 図書館職員体制の充実	5. 図書館職員体制強化の 推進	⑧ 職員の司書有資格者数
IV-1 読書推進のための 学習機会の充実	【6】 IV-1-(2) 職場体験等の受入	8. 職場体験等の受入の推 進	⑨ 職場体験等の受入件数

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【Ⅰ】 指標①②

点検評価の対象年度		令和 6 年度			別紙 4-(Ⅰ)			
課 題		Ⅰ-Ⅰ 利用者サービスの充実			主管 部課	教育委員会		
施 策 名		Ⅰ-Ⅰ-(Ⅰ) 資料・情報提供サービスの充実				生涯学習部 中央図書館		
事務事業名		Ⅰ. 資料・情報提供サービスの推進						
施策 (事務事業)	施策の概要等	公共図書館における利用者サービスを充実させるため、図書館奉仕の基本的なサービスである資料・情報提供サービスを推進する。 関係法令等 ○図書館法 _{〈第3条第1項第1号〉} 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。)を含む。以下「図書館資料」という。)を収集し、一般公衆の利用に供すること。 _{〈第3条第1項第3号〉} 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (一)貸出サービス等 市町村立図書館は、貸出サービスの充実を図るとともに、予約制度や複写サービス等の運用により利用者の多様な資料要求に的確に応えるよう努めるものとする。 (二)情報サービス ① 市町村立図書館は、インターネット等や商用データベース等の活用にも留意しつつ、利用者の求めに応じ、資料の提供・紹介及び情報の提示等を行うレファレンスサービスの充実・高度化に努めるものとする。 ② 市町村立図書館は、図書館の利用案内、テーマ別の資料案内、資料検索システムの供用等のサービスの充実に努めるものとする。 ③ 市町村立図書館は、利用者がインターネット等の利用により外部の情報にアクセスできる環境の提供、利用者の求めに応じ、求める資料・情報にアクセスできる地域内外の機関等を紹介するレファレンスサービスの実施に努めるものとする。						
実際の成果・効果等		R6年度の来館者数(電子図書館来館者含む)は目標値に達していないが、前年度実績より増加する見込みで改善傾向にある。 各館においては、来館者の読書意欲が沸くよう、時事的な切り口でのテーマを織り交ぜながら毎月全館で特集展示を行った。 レファレンス件数は、インターネットの普及により、いろんな情報がネット検索できることもあり目標値を達成できていませんが、利用者の知りたい、調べたいという要望には概ね応えている。						
事業に要した経費 (R6 見込値)		令和6年度の図書館に関する決算見込み額(正規職員の人件費除く) ・会計年度任用職員に係る人件費等・・・85,644千円(前63,263千円) ・図書資料購入費・・・・・・・・・・28,348千円(前27,832千円) ・図書館システム運用経費・・・・・・28,164千円(前22,205円) ・電子図書館サービス経費・・・・・・2,974千円(前2,924千円)						
・実績値 指標名・目標値	指標名	目標値	実績見込	前年度実績値	指標名	目標値	実績見込	前年度実績値
	①来館者数 (うち電子図書館)	481,300	392,614 (26,345)	325,645 (24,384)	②レファレンス (調査相談)件数	1,780	730	647

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	4	B	●来館者数の目標値は達成できていないが、前年度よりは増加している。 ●レファレンス件数は目標値には達しなかったが、前年度実績を超える見込みである。令和6年度はレファレンスサービスの周知として、全館で巡回展示や各館発行の図書館だよりにより毎回事例の掲載を行った。
	今後の方向性	4		●限られた予算の中で、電子図書館の充実をどのように図っていくか。選書や複本の在り方も含めて検討する。 ●全館でレファレンスサービスの巡回展示や、各館の図書館だよりでレファレンス事例の掲載を継続する。また、児童生徒を対象にした「全国調べもの学習コンクール」の周知を図り、参加者を増やす。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	4	B	●「各館の図書館だよりでレファレンス事例の掲載の継続」や「児童生徒を対象にした『全国調べもの学習コンクール』の周知」等、実効性のある取り組みをさらに模索し推進してほしい。 ●目標値には達していないが、前年度実績は上回った。読書バリアフリーの観点やアクセシビリティの視点からも電子図書館の充実については検討したほうが良いと思う。 ●各図書館で来館者数を増やすため特設コーナー設置やイベントの企画を行う努力をしていることは評価できる。来館者数を増やす努力を継続しつつ電子図書の普及にも力を入れてほしい。
	今後の方向性	4		●電子図書館の利用増を目指して本の充実を図るなどの取り組みはよいが、電子図書館の利用者増だけで目標達成できるとは思えない。 ●一般来館者数を増やす手段を考える取り組み（アンケートや利用増を目指すための会議、来館者数が増えている施設への視察）などの実施も検討してもよいのではないか。 ●多様なニーズという意味では、外国人の利用・サービスサポートにも注目してもらいたい。沖縄に来る日本語学校の生徒たちは、経済的な余裕もなく、かつ日本語に広く触れる機会も大切である。取り残される人のいない図書館サービスの展開に引き続き、取り組んでももらいたい。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【2】 指標③

点検評価の対象年度		令和 6 年度		別紙 4-(1)		
課 題		I-2 青少年に対するサービスの充実		主管 部課	教育委員会	
施 策 名		I-2-(1) 中学生・高校生の読書活動の充実			生涯学習部 中央図書館	
事務事業名		2. 中学生・高校生の読書活動の推進				
施策 (事務事業)	施策の概要等	スマートフォンやインターネットの普及に伴い、中学生・高校生のヤングアダルト層の公共図書館離れが深刻になりつつあるなかで、活字に触れる機会を増やすとともに本を読む楽しさを再確認してもらえるよう、中学生・高校生の読書活動の充実を図る。				
		関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成 24 年文部科学省告示第 172 号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (四)利用者に対応したサービス ア(児童・青少年に対するサービス) 児童・青少年用図書の整備・提供、児童・青少年の読書活動を促進するための読み聞かせ等の実施、その保護者等を対象とした講座・展示会の実施、学校等の教育施設等との連携				
実際の成果・効果等		全国読書週間、なは教育の日に関連して、子どもたちが書いたおすすめ本の POP カードの掲示と紹介本の展示・貸出などの企画が実施できた。 また、石嶺図書館では、地域の小中学生へ来館促進ポスター原画作を公募した。更に、近隣の高校生へボランティア募集を行い、若者目線での企画を行うなど新たな取り組みを実施した。				
事業に要した経費		図書館運営事業の行事用消耗品費				
値・実績値 指標名・目標	指標名			目標値	実績見込	前年度実績値
	③ 中学生・高校生向けの企画実施件数			7	7	6

	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
点検評価 (内部)	達成度	5	B	目標値達成。令和6年度は、石嶺図書館が近隣の高校に図書館ボランティアを公募して、YAコーナーの企画など新たな試みを実施した。
	今後の方向性	3		石嶺図書館で導入した高校生ボランティアの導入は、高校生側にも図書館側にもメリットがあるので、次年度は他館にも広めたい。

別紙 4-(2)

	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
点検評価 (外部)	達成度	5	B	●石嶺図書館で行った近隣の高校生へボランティア募集は、高校生にとって「ボランティア活動」の実績として評価対象となることから今後拡大できると考える。中高生の柔軟な発想を生かした企画、生徒の読書活動への誘いなど大きな成果が期待できる。生徒にとってのメリットとして、顕彰制度を取り入れた読書関連企画もこの施策領域では効果的だと考える。 ●中学生や高校生とタイアップした企画が充実してきた。全館にも広めて更なる充実を図っていただきたい。
	今後の方向性	3		●中高生向けの企画が充実し、図書館との多様な接点が増えている。インターンなども併せて積極的に取り組んでおり、図書館ファンを増やす取り組みは評価できる。 ●施策にあるように、読書活動の推進や充実につながる他のアプローチがないかも検討しながら取り組んでもらいたい。 ●Instagram等のSNSを活用してイベントの周知は効果的だと思う。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【3】 指標④⑤⑥

点検評価の対象年度		令和 6 年度			別紙 4-(1)			
課 題		I-3 障がい者サービスの充実			主管 部課	教育委員会		
施 策 名		I-3-(1) 障がい者サービス用資料の充実				生涯学習部 中央図書館		
事務事業名		3. 障がい者サービス用資料の貸出の推進						
施策 (事務事業)	施策の概要等		障がいのある方等へのサービスを充実させるため、デジター図書（文字・音声・画像を再生できる電子図書）や大活字本・朗読 CD 等資料の充実を図る。 期待される効果として ①障がいのある方々に読書の楽しみを広げていくことができる。 ②視覚障がいのある方のみならず、学習障がいや知的障がいのある方等にも活用することができる。 ③文化・情報面のバリアフリー化を推進することができる。					
			関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成 24 年文部科学省告示第 172 号) 第二 (公立図書館) ー (市町村立図書館) 3 (図書館サービス) (四) 利用者に対応したサービス ウ(障害者に対するサービス) 点字資料、大活字本、録音資料、手話や字幕入りの映像資料等の整備・提供、手話・筆談等によるコミュニケーションの確保、図書館利用の際の介助、図書館資料等の代読サービスの実施					
実際の成果・効果等		◆デジター図書の周知取組 ○出向いてデジター図書の利用方法を説明した。 ・市内小中学校（特別支援学級）：小学校 2 校、中学校 3 校 ◆デジター図書や大活字本等障がい者サービスの周知取組として特集展示を実施した。(2 館) R6 年度蔵書見込み値は以下の通り。 ・デジター図書：314 点 ・朗読 CD ：480 点 ・大活字本 ：1,780 冊						
事業に要した経費 (R6 見込値)		・デジター図書……… 20 点 10,000 円 (R5：10,000 円) ・朗読 C D …………… 18 作品 47,740 円 (R5：48,400 円) ・大活字本…………… 45 冊 140,778 円 (R5：80,466 円)						
指標名・実績値	指標名	目標値	実績見込	前年度実績値	指標名	目標値	実績見込	前年度実績値
	④デジター図書貸出数	50	91	81	⑥朗読 C D 貸出数	400	240	512
	⑤大活字本貸出数	1,630	2,210	2,375				

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	4	B	デージー図書と大活字本は目標値を達成する見込みだが、朗読 CD は目標値には達せず、前年度実績にも達しない見込みである。 令和 6 年度は全館でデージー図書の巡回展示を実施。また、老人センターに行って大活字本を紹介したりしたことなどが貸出増につながった。
	今後の方向性	4		通常の本以外にも様々な形態の資料があることを広く知らせるため、常設展示を検討する。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	4	B	●朗読 CD の貸出が前年度実績を下回った原因について分析が必要だと考える。その上で、これまで高い達成率をあげていた施策であるので、全館での巡回展示の継続や常設展示の工夫により、市民への周知や利用者促進へ繋げたい。 ●デージーと大活字は目標値に達したが、朗読 CD の貸出が達していない。最近ではオーディオブックの需要は障がい者だけではなく、若者や健常者にも高くなっているように思える。広く周知することで利用者を増やせるのではないかと考える。
	今後の方向性	4		●大型活字本は障がい者だけでなく高齢者からもニーズがあると思われる。対象を広げて広報してはどうか。 ●指標が3つあることを生かして、それぞれのターゲットへのアプローチや課題を分析して取り組んでもらいたい。昨年度、とても力を入れていたと思うので、その分の前年実績から下がるのはある程度仕方ない部分があるが、利用者の定着を目指す意味では一定の維持は必要である。 ●チラシや利用方法を説明する啓発活動だけでなく、周知と現状確認やヒントをもらうことを目的とした当事者や家族・支援者などとの意見交換の機会などの工夫もよいと考える。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【4】 指標⑦

点検評価の対象年度		令和 6 年度		別紙 4-(1)	
課 題		Ⅱ-1 多種多様な市民ニーズに対応できる人材の採用・育成		主管 部課	教育委員会
施 策 名		Ⅱ-1-(1) 図書館職員研修の充実			生涯学習部 中央図書館
事務事業名		4. 図書館職員研修の実施及び各種研修への参加			
施策 (事務事業)	施策の概要等	司書や一般事務職員に対する研修の企画実施及び他団体主催研修への参加促進等、職員への研修等を充実させ、職員の図書館業務の専門的職務遂行能力を高め多種多様な市民ニーズに対応できる人材を育成する。			
		関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成 24 年文部科学省告示第 172 号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)4(職員) (二)職員の研修 ①市町村立図書館は、司書及び司書補その他の職員の資質・能力の向上を図るため、情報化・国際化の進展等に留意しつつ、これらの職員に対する継続的・計画的な研修の実施等に努めるものとする。 ②市町村教育委員会は、市町村立図書館の館長その他の職員の資質・能力の向上を図るため、各種研修機会の拡充に努めるとともに、文部科学大臣及び都道府県教育委員会等が主催する研修その他必要な研修にこれら職員を参加させるよう努めるものとする。			
実際の成果・効果等		今年度は、県外に職員を 3 人派遣した。(全国図書館大会(長崎大会)に 2 人、全国視覚障害者情報提供施設大会(福岡大会)に 1 人) 国立国会図書館研修や全国公共図書館研究会などの研修も、Web 配信で複数名受講することができた。図書館職員としての資質・能力を向上させた。			
事業に要した経費		全国図書館大会は、沖縄県公共図書館連絡協議会の補助金を活用。全国視覚障害者情報提供施設大会は、生涯学習部の予算から捻出。WEB 研修及び県内開催研修に参加するための経費は発生していない。			
指標名・目標値・実績値		指標名	目標値	実績見込	前年度実績値
		⑦研修会への参加人数(参加件数)	90(12)	83(28)	110(31)

	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
点検評価 (内部)	達成度	3	B	参加人数は目標値に達していない。前年度実績よりも減となる見込みだが、令和6年度は、補助金の活用や、部の研修予算枠にエントリーして県外研修に参加することができた。
	今後の方向性	5		今後も研修受講を勧める。受講希望者が受講できるように必要に応じて館間で調整をするなど研修機会の確保に努める。

別紙 4-(2)

	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
点検評価 (外部)	達成度	3	B	●目標値に達していないが、件数では達成できている。また、県外研修に行けたのは大変良い。経費は発生していないとのことであるが、図書館では、研修が大切なので予算をつけてもよいと思う。
	今後の方向性	5		●オンライン研修の活用など広く学ぶ機会や、大会参加など最前線の学びや人との出会いにつながる現地参加のどちらも重要であり、引き続き、人材育成には力を入れて取り組んでもらいたい。 ●司書の業務や図書館の運営など多岐にわたる研鑽が必要だと思う。働いている人がキャリアパスを意識し、学び続けることができる選択肢や機会を整えてもらいたい。 ●多数の研修に参加できるよう予算や補助金を活用してほしい。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【5】 指標⑧

点検評価の対象年度	令和6年度	別紙 4-(1)		
課 題	Ⅱ-1 多種多様な市民ニーズに対応できる人材の採用・育成	主管 部課	教育委員会	
施 策 名	Ⅱ-1-(2) 図書館職員体制の充実		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名	5. 図書館職員体制強化の推進			
施策 (事務事業)	施策の概要等	専門職である司書を配置し、管理運営及び職員体制の充実を図ることで、多種多様な市民ニーズに対応できる人材を育成する。		
		関係法令等 ○図書館法 第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。 2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。 3 司書補は、司書の職務を助ける。 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)4(職員) (一)職員の配置 ②市町村教育委員会は、市町村立図書館が専門的なサービスを実施するために必要な数の司書及び司書補を確保するよう、その積極的な採用及び処遇改善に努めるとともに、これら職員の職務の重要性にかんがみ、その資質・能力の向上を図る観点から、第一の四の②に規定する関係機関等との計画的な人事交流(複数の市町村又は都道府県の機関等との広域的な人事交流を含む。)に努めるものとする。		
実際の成果・効果等		レファレンスサービスの対応や特集展示などで司書の専門性を発揮した。		
事業に要した経費		特になし		
指標名・目標値・実績値	指標名	目標値	実績値	前年度実績値
	⑧職員の司書有資格者数(繁多川除く・カウンター含む) (司書の割合)	43	44 (61.9%)	45 (62.5%)

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	5	A	目標値に達している。
	今後の 方向性	4		図書館は本を借りたりする場だけではなく、様々な心配事や疑問などに対し適切な情報を案内できる場であることをもっと広めていく。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	5	A	●人材確保については、どの図書館も苦慮している。その中で同水準で維持できているのは良いと思う。この方向性で司書の専門性を生かしてほしい。 ●今後も市民からの多様なニーズに応える司書の配置、育成に努めていただきたい。
	今後の方向性	4		●配置は目標を達成している。今後は、その維持とともに、成果で書かれている専門性の発揮をどう見える化する、さらなる質の向上を考える段階に進んでもらいたい。 ●那覇市立小中学校の学校司書との人事交流も図られていると思うが、そのネットワークを生かし、連携した取組の可能性も大きいと感じる。

施策（事務事業）の進捗管理チェックシート【6】 指標⑨

点検評価の対象年度	令和6年度	別紙 4-(1)		
課 題	IV-1 読書推進のための学習機会の充実	主管 部課	教育委員会	
施 策 名	IV-1-(2) 職場体験等の受入		生涯学習部 中央図書館	
事務事業名	8. 職場体験等の受入の推進			
施策 (事務事業)	施策の概要等	公共図書館の果たす役割や業務内容を広く理解してもらうため、職場体験等を受け入れる。		
		関係法令等 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示第172号) 第二(公立図書館)一(市町村立図書館)3(図書館サービス) (四)利用者に対応したサービス ア(児童・青少年に対するサービス) 児童・青少年用図書の整備・提供、児童・青少年の読書活動を促進するための読み聞かせ等の実施、その保護者等を対象とした講座・展示会の実施、学校等の教育施設等との連携 (五)多様な学習機会の提供 ①市町村立図書館は、利用者及び住民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、講座、相談会、資料展示会等を主催し、又は関係行政機関、学校、他の社会教育施設、民間の関係団体等と共催して多様な学習機会の提供に努めるとともに、学習活動のための施設・設備の供用、資料の提供等を通じ、その活動環境の整備に努めるものとする。		
実際の成果・効果等		職場体験・インターンシップは中高生、大学及び教員、文部科学省職員、計33件(前31件)、施設見学は近隣小学校からの計7件(前12件)受け入れた。		
事業に要した経費		事業に要した経費なし		
指標名・目標値・実績値	指標名	目標値	実績見込	前年度実績値
	⑨職場体験等の受入件数	60	40	43

点検評価 (内部)	評価の観点	評価	総合 評価	内部評価コメント
	達成度	3	B	目標値には達しなかったが前年度実績とほぼ同数。 今年度は、なは未来支援学校の生徒1人を職場体験として受け入れ、南風原高等支援学校4人をインターンシップ生として受け入れた。
	今後の方向性	4		児童生徒や学生等に公共図書館の役割や業務内容を広く理解してもらう機会として、可能な限り受け入れを継続していく。

別紙 4-(2)

点検評価 (外部)	評価の観点	評価	総合 評価	外部評価コメント
	達成度	3	B	●目標値にも達しておらず前年度実績よりも低い。しかし、職場体験については先方からの希望がなければ成り立たないので仕方のないことだと思う。基準を職場体験だけではなく出前授業など図書館が積極的に推進できる基準なども取り入れてはどうか。 ●目標値は達していない。達成しないといけない目標値なのか、指標に対応時間や受け入れ人数も併せて考えるのかなど、得たい成果につながる目標や指標の設定を引き続き、検討してほしい。
	今後の方向性	4		●特別支援学校の生徒の受け入れは高く評価する。まずは受け入れるということが大きな一歩だが、効果や受け入れ内容についてはしっかり検証し、可能なら継続してもらいたい。 ●職場体験の受け入れは図書館ファンを増やすという意味では非常に効果が高い反面、現場の負担も少なくない。広く図書館について知ることができる見学会や、ボランティアや体験のプログラムづくりなどステップアップの仕組み化、基本的な説明や概要はビデオコンテンツを使って事前や体験中に見てもらうなど、負担を減らしつつ効果が大きくなる工夫に取り組んでもらいたい。

令和 6 年（2024 年）度「めざそう値」の達成度等の点検評価のまとめ

「『那覇市立図書館』運営の基本的な考え方」の施策の進捗管理として、下記のように「指標」と「めざそう値」の設定、評価点検を行ってきた。

2010 年度	那覇市立図書館運営の基本的な考え方を制定。 2010 年度から 2014 年度までの指標とめざそう値を設定。
2015 年度	ビジョンの文言修正及び重点施策の体系を見直した。 2015 年度から 2019 年度までの指標とめざそう値を設定。 これまで 4 つ観点（必要性・効果効率性・緊急性・今後の方向性）から評価していたが 2015 年度の評価から 2 つの観点（達成度・今後の方向性）に変更した。
2019 年度	2020 年度から 2024 年度までの指標とめざそう値を設定。
2020・2021 年度	コロナ禍のため 2019・2020 年度の外部評価が実施できず内部評価のみ実施。
2022 年度	2022 年度から指標の「来館者数」の実績値に、電子図書館アクセス数を加えた。また、めざそう値を達成していた「デイジー図書貸出数」「大活字本貸出数」「朗読 CD 貸出数」については、2023 年度から上方修正を行った。

【評価の概要】

令和 6 年（2024 年）度「めざそう値」の達成度等の点検評価のまとめ				内部 評価	外部 評価	
指標名	めざそう値	実績値	達成率			
1	資料・情報提供サービスの充実				B	B
	① 来館者数	481,300	392,614	0.82		
	② レファレンス（調査相談）件数	1,780	730	0.41		
2	中学生・高校生の読書活動の充実				B	B
	③ 中学生・高校生向けの企画実施件数	7	7	1		
3	障がい者サービス用資料の充実				B	B
	④ デイジー図書貸出数	50	91	1.82		
	⑤ 大活字本貸出数	1,630	2,210	1.36		
	⑥ 朗読CD貸出数	400	240	0.60		
4	図書館職員研修の充実				B	B
	⑦ 研修会への参加人数（参加件数）	90（12）	83（28）	0.92（2.33）		
5	図書館職員体制の充実				A	A
	⑧ 職員の司書有資格者数	43	44	1.02		
6	職場体験等の受入				B	B
	⑨ 職場体験等の受入件数	60	40	0.67		

【評価の総括】

指標のめざそう値の達成度について、令和 6 年（2024 年）度の点検評価を実施した。達成しためざそう値は 4 つ、未達成は 5 つという結果になった。また、総合評価の内部評価は A 評価が 1 項目、B 評価が 5 項目、外部評価も同じ結果となった。（C・D・E 評価はない）外部評価において、レファレンス件数の目指そう値が高すぎるのではという意見があったが、那覇市総合計画の指標にもなっており、整合性の観点から見直しは行っていない。また、R6 年度に初めて石嶺図書館で高校生ボランティアを導入。YA 世代の読書活動推進に寄与する取り組みとして評価できる。更に R6 年度は県公共図書館協議会の補助金や部内研修にエントリーして採用されるなど積極的に県外研修等に参加している。研修等で得られた知見を最大限活かしてほしい。